



エコアクション21 環境経営レポート

2024年度

活動期間：2024年4月～2025年3月

日鉄鋼管ファインチューブ株式会社

発行日 2025年6月27日
改訂日 2026年1月16日

目次

1. 環境経営方針	2頁
2. 事業活動内容	3頁
(1) 事業所名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先	
(4) 事業内容	
(5) 事業規模	
(6) 活動の範囲	
(7) 実施体制図	
3. 環境経営目標及び環境経営計画	5頁
(1) 環境経営活動目標（2022～2024年度（3ヵ年計画））	
(2) 環境経営計画（2024年度）	
4. 環境経営取り組みと評価	6頁
(1) 今年度（2024年度）環境経営取り組み 実績と評価	
(2) 来年度（2025年度）環境経営取り組み 計画	
5. 環境経営実施結果の過年度との比較	10頁
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	11頁
7. 管理責任者及び代表者による評価とレビュー	12頁

環境経営方針

●基本理念

環境保全を当社の経営の重要課題と位置づけ、全社一丸となって積極的に環境経営活動に取り組み、当社の持続的発展と社会全体の環境保全に貢献します。

環境経営活動を継続的に改善し、社会に貢献する製品の提供、時代の変化を先取りする技術の開発に努めます。

●行動指針

1. 生産性の向上、並びに歩留、品質の向上により、エネルギー・材料使用効率を高め環境負荷低減に努めます。
2. 異形管・多重管など当社独自の特殊鋼管をお客様に提供することで、自動車の軽量化・燃費改善に寄与します。
3. 以下について、具体的な環境経営目標を定め、実施計画を立て、継続的改善に努めます。
 - ①CO2排出量の削減
 - ②廃棄物排出量の削減
 - ③水使用量の削減
 - ④化学物質使用量の管理
 - ⑤環境配慮への取り組み
4. 環境関連法規制を遵守します。
5. この環境経営方針を全従業員に周知します。

日鉄鋼管ファインチューブ株式会社
代表取締役社長
三浦 孝雄

制改訂版数：9
制定日：2010年1月4日
改訂日：2023年7月1日

2. 事業活動内容

(1) 事業所名及び代表者名

日鉄鋼管ファインチューブ株式会社
代表取締役社長 三浦 孝雄

(2) 所在地

本社・工場：徳島県板野郡松茂町豊久字豊久開拓139-17
東京支店：東京都千代田区有楽町1丁目1番3号 東京宝塚ビル 12階
名古屋支店：愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目13番18号 NSビル
大阪支店：大阪府大阪市中央区今橋4丁目3番18号 HK今橋ビル 10階

(3) 環境管理責任者名及び担当者連絡先

環境管理責任者
常務取締役工場長 横山 哲夫
担当者
TEL:088-699-5211
FAX:088-699-5088

(4) 事業内容

金属製品製造業（引き抜き鋼管の製造）

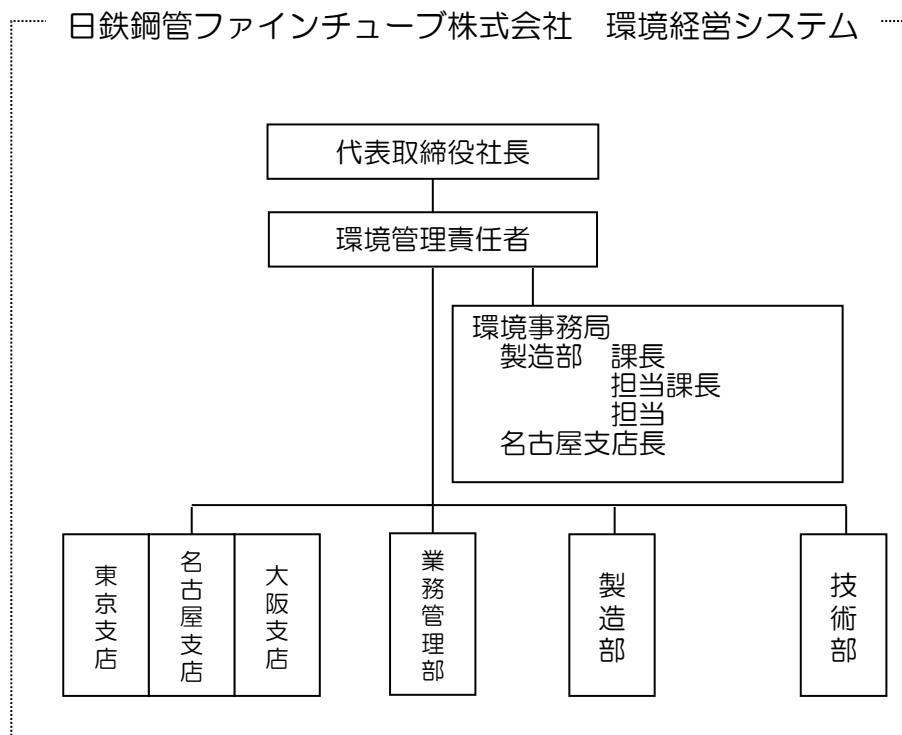
(5) 事業規模(2024年度)

製品生産量	13,031 t
売上高	4,662 百万円
従業員	105 名
床面積	11,135 m ²

(6) 活動の範囲

全組織・全活動を対象にしている。

(7) 実施体制図



	役割・責任・権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任、および環境管理責任者を任命。 経営における課題とチャンスを整理し明確にする。 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源（人、設備、費用、時間）を用意する。 「環境経営方針」の策定・見直し及び全従業員へ周知。 「環境経営計画の実施状況と評価」を承認。 代表者として環境経営システム全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築し、実施し、管理する。 「法規及びその他の要求事項の取りまとめと遵守チェック表」を承認。 「環境経営目標及び環境経営計画」を承認。 「環境経営計画の実施状況と評価」のQ毎の評価、是正指示。 環境経営活動の取組結果を「環境経営レポート」にまとめ代表者へ報告。
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者、EA21推進の事務局 「環境への負荷、及び取組の自己チェック」の実施。 「法規及びその他の要求事項の取りまとめと遵守チェック表」による確認。 「環境経営目標及び環境経営計画」「環境経営計画の実施状況と評価」の作成、及び実績集計と是正処置（問題点処置票）の実施。 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長（支店長）	<p>自部門における</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの実施。 従業員への「環境経営方針」の周知、環境教育訓練の実施。 「環境経営計画の実施状況と評価」の実績集計と報告。 特定された環境活動項目の基準書、手順書作成及び運用管理。 特定された緊急事態への対応のための基準書、手順書作成、テスト・訓練・記録。 問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針を理解と環境への取組の重要性を自覚。 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

3. 環境経営目標及び環境経営計画

(1) 環境経営目標 (2022~2024年度 (3カ年計画))

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		基準年度 実績	基準年度▲1% 目標	基準年度▲2% 目標	基準年度▲3% 目標
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /生産量ト	445.2	440.7	436.3	431.8
電力使用量(*1)	kWh/生産量ト	239.2	236.8	234.4	232.0
A重油使用量	ℓ/酸洗量ト	21.3	21.1	20.9	20.7
灯油使用量	ℓ/直火炉処理量ト	37.5	37.1	36.8	36.4
LPG使用量	kg/光輝炉処理量ト	33.5	33.2	32.8	32.5
廃棄物排出量	kg/生産量ト	86.02	85.16	84.30	83.44
水使用量(*2)	m ³ /酸洗量ト	2.48	2.46	2.43	2.41
化学物質使用量	kg/生産量ト	4.39	4.35	4.30	4.26
環境配慮	エコにつながる製品の 実現(引き合い検討)	件	3	3	3
	環境汚染軽減 (積載率の向上)(*3)	%	90%	90%	90%

*1 購入電力のCO₂排出係数：0.550kg-CO₂/kWh

(2022年度調整後排出係数、係数の使用期間は2022~2024年度)

*2 水使用量の実績指標をm³/生産量(ト)からm³/酸洗量(ト)に変更。基準年2021年度も変更後の実績。
(2021年度：生産量=13,842ト、酸洗量=29,077ト)

*3 積載率=積載製品質量/トラックの最大積載質量(%)

(2) 環境経営計画 (2024年度)

	2024年度方針	目標	目標達成手段
本社・工場	I. 二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	スポットクーラー・ヒーターの空運転防止
			熱回収型コンプレッサの優先使用
			圧縮空気の漏れ箇所の修理
			圧縮空気の圧カダウン
		重油使用量の削減	蒸気ドレントラップの整備
	蒸気配管の保温劣化部の整備		
	灯油使用量の削減	蒸気漏れ部の修理	
		直火炉廃熱利用による洗浄補給水加熱	
	LPG使用量の削減	直火炉処理量向上 (出側シャワー装置活用)	
		光輝炉の空炉時間の短縮	
II. 廃棄物排出量の削減	廃油排出量の削減	再生利用油との区分を徹底	
	燃え殻排出量の削減	紙段ボールのリサイクル化(古紙・廃段ボールの有価売却)	
III. 水使用量の削減	工業用水使用量削減	水洗槽の使用・pH設定値の見直し	
		節水の呼び掛け	
IV. 化学物質使用量の管理	ハルボンドの使用量管理	ハルボンド使用量の管理	
		洗浄工程の効率化 (自動洗浄ラインの活用)	
V. 環境配慮	エコにつながる製品の 実現	軽量化・高機能化製品引き合い検討	
	環境汚染軽減	積載率の向上	
東京支店, 名古屋支店, 大阪支店	I. 二酸化炭素排出量の削減		昼休み等の不必要時、照明の消灯
			適正な室温管理
			PC電源管理 (スリープモードの活用)
	II. 廃棄物排出量の削減		印刷物の軽減
			裏紙使用による紙屑発生量の低減
	IV. 環境配慮	エコにつながる製品の 実現	可燃物、ペットボトル、スチール缶の分別廃棄
軽量化・高機能化製品の提案			
		軽量化・高機能化製品引き合い獲得	

4. 環境経営取り組みと評価

(1) 今年度（2024年度） 環境経営取り組み 実績と評価

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		
		基準年度	基準年度▲1%	基準年度▲2%	基準年度▲3%		
		実績	目標	目標	目標	実績	達成率 (目標/実績)
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /生産量ト	445.2	440.7	436.3	431.8	391.8	110% ○
電力使用量(*1)	kWh/生産量ト	239.2	236.8	234.4	232.0	199.8	116% ○
A重油使用量	ℓ/酸洗量ト	21.3	21.1	20.9	20.7	20.0	103% ○
灯油使用量	ℓ/直火炉処理量ト	37.5	37.1	36.8	36.4	39.6	92% △
LPG使用量	kg/光輝炉処理量ト	33.5	33.2	32.8	32.5	36.5	89% △
廃棄物排出量	kg/生産量ト	86.02	85.16	84.30	83.44	73.89	113% ○
水使用量(*2)	m ³ /酸洗量ト	2.48	2.46	2.43	2.41	2.62	92% △
化学物質使用量	kg/生産量ト	4.39	4.35	4.30	4.26	3.64	117% ○
環境配慮	エコにつながる製品の実現(引き合い検討)	件	3	3	3	5	167% ○
	環境汚染軽減(積載率の向上)(*3)	%	90%	90%	90%	93%	104% ○

*1 購入電力のCO₂排出係数：0.550kg-CO₂/kWh

(2022年度公表 調整後排出係数、係数の使用期間は2022～2024年度)

*2 水使用量の実績指標をm³/生産量(ト)からm³/酸洗量(ト)に変更。基準年2021年度も変更後の実績。
(2021年度：生産量=13,842ト、酸洗量=29,077ト)

*3 積載率=積載製品質量/トラックの最大積載質量(%)

【目標未達項目の評価】

①灯油・LPG

(原因) 熱処理炉の稼働率の低下。

(対策) 稼働計の設置し稼働率を監視。昼休み操業の拡大と点火時間の短縮。

②水使用量

(原因) 品質を優先した洗浄槽の液建替え回数の増加。

(対策) 酸液・脱脂液の劣化評価による液管理のレベルアップとそれによる管洗浄後の清浄度向上。

(2024年度実績算出データ)

2024年度排出量	生産量等(ト)
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	生産量 13,031
電力使用量(kWh)	生産量 13,031
A重油使用量(ℓ)	酸洗量 23,181
灯油使用量(ℓ)	直火炉処理量 11,223
LPG使用量(kg)	光輝炉処理量 11,019
廃棄物排出量(kg)	生産量 13,031
工業用水使用量(m ³)	酸洗量 23,181
化学物質使用量(kg)	生産量 13,031

4. 環境経営取り組みと評価

(1) 今年度(2024年度) 環境経営取り組み 実績と評価(続き)

○達成、△未達

方針	環境経営目標	目標達成手段	責任者	計画・実績と評価						
				第一半期 (4~6月)	第二半期 (7~9月)	第三半期 (10~12月)	第四半期 (1~3月)	年間		
				生産量(トン)	3,132	3,198	3,290	3,411	13,031	
				平均抽伸回数	—	—	—	—	1.43	
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	スポットクーラー・ヒーターの空運転防止	製造課長	○	○	○	○	○		
		熱回収型コンプレッサの優先使用	工務課長	○	○	○	○	○		
		洗浄棟照明LED化	製造・工務課長	—	—	○	—	○		
		圧縮空気の漏れ箇所修理	製造・工務課長	○	○	○	○	○		
		No.1.3コンプレッサ統合	製造・工務課長	○	—	—	—	○		
		昼休み等の不必要時、照明の消灯	事務所・支店長	○	○	○	○	○		
		適正な室温管理	事務所・支店長	○	○	○	○	○		
		PC電源管理(スリープモードの活用)	事務所・支店長	○	○	○	○	○		
		目標(kWh/生産量トン)	232.0	実績	189.0	204.3	204.8	200.8	199.8	
			評価	○	○	○	○	○		
	重油使用量の削減	蒸気ドレトラップの整備	製造・工務課長	—	—	—	—	—		
		蒸気配管の保温劣化部の整備	製造・工務課長	—	—	—	—	—		
		蒸気漏れ部の修理	工務課長	○	○	○	○	○		
		直火炉廃熱利用による洗浄補給水加熱	製造課長	○	○	○	○	○		
		直火炉出側エア配管補修	工務課長	○	—	—	—	○		
		目標(L/酸洗処理量トン)	20.7	実績	20.8	17.8	19.6	21.7	20.0	
			評価	△	○	○	△	○		
	灯油使用量の削減	直火炉処理量向上(出側シャワー装置活用)	製造課長	○	○	○	○	○		
		目標(L/直火炉熱処理量トン)	36.4	実績	39.3	39.3	40.1	39.6	39.6	
				評価	△	△	△	△	△	
LPG使用量の削減	光輝炉の空炉時間の短縮	製造・工務課長	○	○	○	○	○			
	目標(kg/光輝炉熱処理量トン)	32.5	実績	36.1	36.5	37.6	35.9	36.5		
			評価	△	△	△	△	△		
4半期ごと実績(kg-CO2)				1,176,898	1,221,197	1,347,936	1,359,598	5,105,630		
目標(kg-CO2/生産量トン)				431.8	実績	375.8	381.9	409.7	398.6	391.8
				評価	○	○	○	○	○	
廃棄物の削減	一般廃棄物の発生抑制	紙段ボールのリサイクル化(古紙・廃段ボールの有価売却)	業務管理課長	○	○	○	○	○		
	実績(kg/t)	0.90	0.83	0.97	0.95	0.91				
	産業廃棄物の発生抑制	廃油排出量の削減(再生使用油との区分徹底)	製造課長	○	○	○	○	○		
	防錆油建浴回数削減	製造課長	○	—	—	—	○			
目標(kg/生産量トン)	83.44	実績	78.77	77.85	73.05	66.50	73.89			
		評価	○	○	○	○	○			
水使用量の削減	工業用水の使用量削減	水洗槽の使用方法・PH設定値の見直し	製造課長	—	—	—	—	—		
	節水の呼び掛け	製造・工務・業務課長	○	○	○	○	○			
	4半期ごと工業用水投入量(m3)	14,990	16,250	16,330	15,760	63,330				
目標(m3/酸洗処理量トン)	2.41	実績	2.84	2.55	2.63	2.46	2.62			
		評価	△	△	△	△	△			
化学物質削減	化学物質使用量の管理	パルボンド使用量の管理	製造課長	○	○	○	○	○		
	洗浄工程の効率化(自動洗浄ラインの活用)	製造課長	○	○	○	○	○			
	目標(kg/生産量トン)	4.26	実績	3.66	3.71	3.65	3.53	3.64		
		評価	○	○	○	○	○			
環境配慮	エコに繋がる製品の実現(*1)	軽量化・高機能化製品引き合い検討	製造・技術課長・支店長	○	○	○	○	○		
	目標(年度累計)	3件	実績	3	1	1	0	5		
			評価	○	○	○	○	○		
環境汚染軽減	積載率の向上(*2)	生管課長	—	—	—	—	—			
	目標(%)	90%	実績	92.9%	91.6%	92.8%	92.8%	93.3%		
		評価	○	○	○	○	○			

*1 自動車の軽量化・高機能化に寄与する素材の提供によるCO2排出量削減(実現例) ①高圧ホース用ソケット:丸棒から鋼管への変更による軽量化 ②ラダーフレームカラー:高強度化による軽量化

*2 積載率=積載製品質量/トラックの最大積載質量(%)

(2) 来年度（2025年度） 環境経営取り組み 計画

項目	単位	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
		基準年度 実績	基準年度▲1% 目標	基準年度▲2% 目標	基準年度▲3% 目標
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /生産量ト	370.5	366.8	363.1	359.4
電力使用量(*1)	kWh/生産量ト	199.8	197.8	195.8	193.8
A重油使用量	ℓ/酸洗量ト	20.0	19.8	19.6	19.4
灯油使用量	ℓ/直火炉処理量ト	39.6	39.2	38.8	38.4
LPG使用量	kg/光輝炉処理量ト	36.5	36.2	35.8	35.4
廃棄物排出量	kg/生産量ト	73.89	73.15	72.41	71.67
水使用量	m ³ /酸洗量ト	2.62	2.59	2.56	2.5
化学物質使用量	kg/生産量ト	3.64	3.60	3.56	3.5
環境配慮	エコにつながる製品の実現(引き合い検討)	件	5	3	3
	環境汚染軽減(積載率の向上)(*3)	%	93%	90%	90%

*1 購入電力のCO₂排出係数：0.454kg-CO₂/kWh（2024年度公表 調整後排出係数、係数の使用期間は2025～2027年度）。基準年度の2024年度の排出量実績も上記係数で見直し。

(2) 来年度（2025年度） 環境経営取り組み 計画（続き）

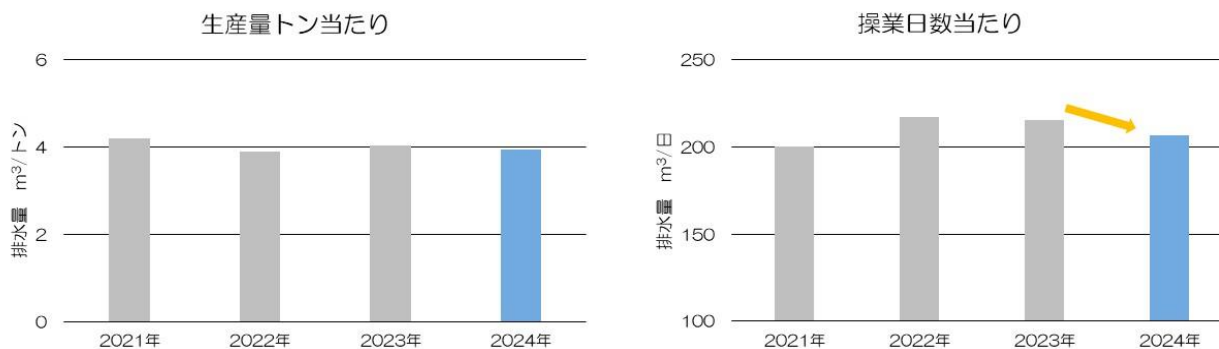
方針	環境経営目標	目標達成手段	責任者	実施時期	
二酸化炭素排出量削減	電力使用量の削減	スポットクーラー・ヒーターの空運転防止	製造課長	通年	
		熱回収型コンプレッサーの優先使用	工務課長	通年	
		圧縮空気の漏れ箇所の修理	製造・工務課長	通年	
		昼休み等の不必要時、照明の消灯	事務所・支店長	通年	
		適正な室温管理	事務所・支店長	通年	
		PC電源管理(スリープモードの活用)	事務所・支店長	通年	
		目標(kWh/生産量トン)	197.8	実績	
			評価		
	重油使用量の削減	蒸気ドレントラップの整備	製造・工務課長	都度	
		蒸気配管の保温劣化部の整備	製造・工務課長	都度	
		蒸気漏れ部の修理	工務課長	通年	
		直火炉廃熱利用による洗浄補給水加熱	製造課長	通年	
		目標(L/酸洗処理量トン)	19.8	実績	
			評価		
	灯油使用量の削減	直火炉処理量向上(出側シャワー装置活用)	製造課長	通年	
		目標(L/直火炉熱処理量トン)	39.2	実績	
				評価	
	LPG使用量の削減	光輝炉の空炉時間の短縮	製造・工務課長	通年	
目標(kg/光輝炉熱処理量トン)		36.2	実績		
			評価		
4半期ごと実績(kg-CO2)					
	目標(kg-CO2/t)	366.8	実績		
			評価		
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の発生抑制	紙段ホールのリサイクル化(古紙・廃段ホールの有価売却)	業務管理課長	通年	
		月別実績(kg/生産量トン)			
	産業廃棄物の発生抑制	廃油排出量の削減(再生使用油との区分徹底)	製造課長	通年	
		防錆油建浴回数削減	製造課長	3Q	
	目標(kg/生産量トン)	73.15	実績		
			評価		
水使用量の削減	工業用水の使用量削減	水洗槽の使用方法・PH設定値の見直し	製造課長	都度	
		節水の呼び掛け	製造・工務・業務課長	通年	
		工業用水投入量(m3)			
		目標(m3/酸洗処理量トン)	2.59	実績	
			評価		
化学物質削減	化学物質使用量の管理	パルボンド使用量の管理	製造課長	通年	
		洗浄工程の効率化(自動洗浄ラインの活用)	製造課長	通年	
		目標(kg/生産量トン)	3.60	実績	
			評価		
環境配慮	エコに繋がる製品の実現(自動車の軽量化・高機能化に寄与する素材の提供によるCO2排出量削減)	軽量化・高機能化製品引き合い検討	製造・技術課長・支店長	通年	
		目標(年度累計)	3件	実績	
				評価	
	環境汚染軽減	積載率(*1)の向上	生管課長	通年	
目標(%)		90%	実績		
			評価		

*1 積載率=積載製品質量/トラックの最大積載質量(%)

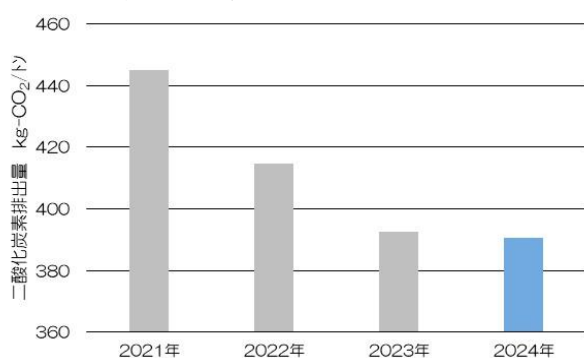
5.環境経営実施結果の過年度との比較

(生産変動を考慮した、生産量(ト)当たりの排水量、二酸化炭素、廃棄物の排出量の推移)

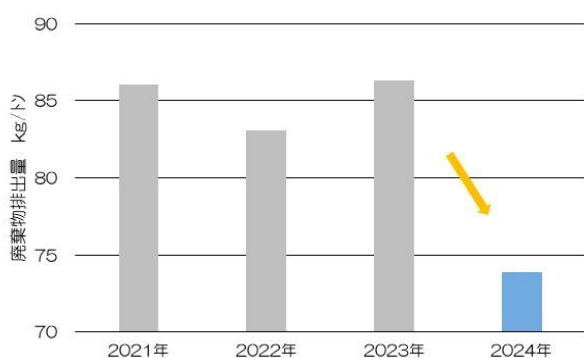
(1)排水量推移(生産量ト当たり、及び操業日数当たり)



(2)二酸化炭素排出量推移(生産量ト当たり)



(3)廃棄物排出量推移(生産量ト当たり)



【評価と是正】

(評価) 二酸化炭素排出量は2021年から継続して削減。廃棄物搬出量は2024年で削減。

排水量は操業日数当たりで微減。

(指示) 二酸化炭素は、電力と重油の使用量削減で改善。生産量当たりの排水量は生産量の減少により悪化。生産量の減少に応じた設備の稼働・停機による改善を進める。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

主な法規及びその他の要求事項

法規等の名称	該当事項	該当設備、物品等	要求事項
廃棄物処理法	一般廃棄物	紙くず、木くず、廃ウエス等	業者との契約・許可書確認
	産業廃棄物	廃プラ、金属くず、汚泥等 廃アルカリ	掲示板表示・責任者の明示、業者との契約・許可書確認、マニフェスト交付・確認
	特別管理産業廃棄物	廃硫酸	同上、処理計画提出・実施状況報告（多量排出事業者）
瀬戸内法 水質汚濁防止法	有害物質使用特定施設： ほう素、りん素、亜硝酸化合物等の有害物質を製造、使用、処理する特定施設	硫酸槽、水洗槽、中和槽、ボンデライト槽、ボンダリユーベ槽	施設の設置・変更許可申請、代表者の変更届出、総量規制基準の値遵守、排出水の汚染状態・負荷量の測定・記録
	特定施設：酸又はアルカリによる表面処理施設	脱脂槽、湯洗槽、一時防錆槽	
大気汚染防止法	設備	ボイラー、大気炉、光輝炉	ばい煙発生施設の設置の届出、代表者の変更届出、測定・記録・保存
騒音規制法 徳島県生活環境保全条例 （騒音に関する規制）	設備	口付け機、抽伸機、矯正機、空気圧縮機、送風機	特定施設の設置の届出、代表者の変更届出、規制基準の遵守
振動規制法	設備	口付機、空気圧縮機	特定施設の設置・変更・廃止の届出、代表者の変更届出、規制基準の遵守
省エネルギー法 地球温暖化対策推進法 徳島県気候変動対策推進条例	第二種エネルギー管理指定工場 電気使用設備 燃料使用設備	 工場、各支店・事務所 熱処理炉 3基、口付炉 1基、蒸気ボイラ 2基、乾燥槽 2基、風呂ボイラ 1基	 エネルギー管理統括者・管理企画推進者・管理者の選任（解任）届出 定期報告（7月）、中期計画の提出、電気需要平準化指針に基づく取り組みの実施 温室効果ガス算定の定期報告（6月）
PRTR法	第一種指定化学物質 亜鉛の水溶性化合物 キシレン メチルナフタレン トリメチルベンゼン	ボンデライト（表面処理） 灯油（直火炉） 重油（蒸気ボイラ） 灯油（直火炉）	第一種指定化学物質の排出量・移動量の把握・算出、新規化学物質購入時のSDSの受理 指定化学物質の取扱量の把握・報告
毒物及び劇物取締法	場所	硫酸槽、硫酸受入タンク	紛失・漏えい等防止の措置、容器・被包・貯蔵場所等への表示、事故時の届出
浄化槽法	設備	単独浄化槽（北トイレ）	設置等の届出、保守・清掃、法定検査、代表者の変更届出
消防法	設備	工場建屋内、油倉庫、燃料タンク	防火管理責任者選任届出、消防計画作成、設備等点検結果報告書、危険物貯蔵所・取扱書の設置許可申請、品名・数量又は指定数量の倍数変更の届出、危険物保安監督者選任解任届出
高圧ガス保安法	設備	LPG製造設備	施設等設置・変更の許可申請、保安統括者等届出、保安検査の申請、定期自主検査・記録
フロン排出抑制法	設備	業務用エアコン、業務用冷凍冷蔵機	第一種特定製品の管理者の判断基準に基づく措置（簡易定期点検、定期点検、交付される充填（回収）証明書の管理）
労働安全衛生法	危険有害性のある化学物質	工場建屋内	化学物質リスクアセスメント実施、結果、措置
松茂町公害防止協定	水質・騒音・振動規制基準	酸洗浄設備、工場内設備	—

■遵守状況

- ・2025年4月に環境関連法規への遵守状況を評価し、逸脱はありませんでした。
省エネ法の届出・報告は法規通り完了。
- ・訴訟及び関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

評価実施日：2025年6月27日
 代表取締役社長
 三浦孝雄

7-1. 確認・評価した項目（見直しに必要な情報）

項 目	確認
1. 環境経営方針	○
2. 実施体制	○
3. 環境経営目標	○
4. 環境経営活動計画	○
5. 環境経営計画の実施状況と評価	○
6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	○
7. 環境コミュニケーションの記録	○

7-2. 見直しの必要性

項 目	見直しの必要性
1. 環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
2. 実施体制	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
3. 環境経営目標	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
4. 環境経営計画	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

7-3. 代表者による全体の評価、及び具体的な指示内容

項目	全体の評価	指示内容
環境経営活動計画	年間でCO2排出量、廃棄物排出量、化学物質、環境配慮の項目は目標達成。水使用量は目標未達。	水使用量は酸液・脱脂液の劣化評価による液管理と製品の清浄度向上に取り組むこと。

- * 1. 確認・評価は毎年6月に実施する。
- * 2. 環境管理責任者は、代表者の指示内容について直ちに実行に移しその結果を代表者に報告する。